



フードと風土のリデザインプロジェクト

スターゲイザー・プロジェクトチーム

プロジェクトチーム

八戸工業大学 三年

代表 沼岡勇成

佐藤勇太

速水薫

吉田政義

アドバイザー:横溝賢

協働先:魚屋福真

事業目的

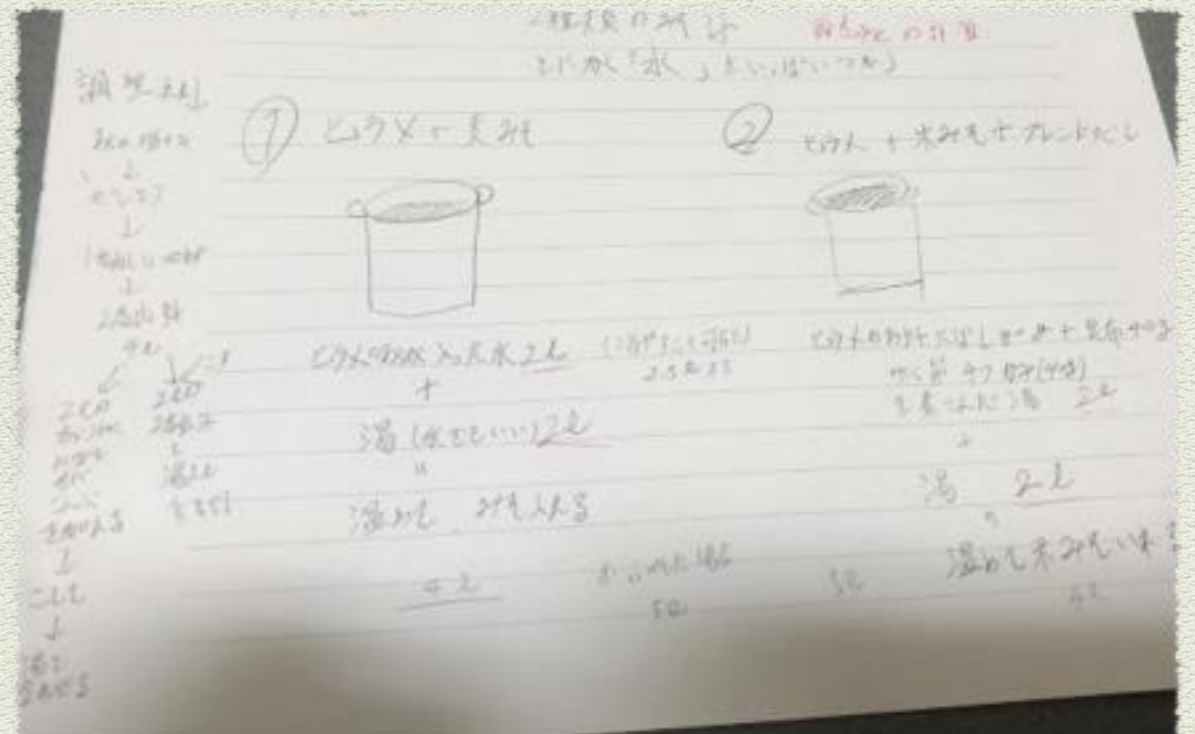
- 魚食文化で栄えた六日町復興のため、魚屋福真と協働し魚のアラを使用した味噌汁販売。
- 魚食文化の活性化や普及に繋げるため、目で楽しく美しい商品やお店のデザインを行う。

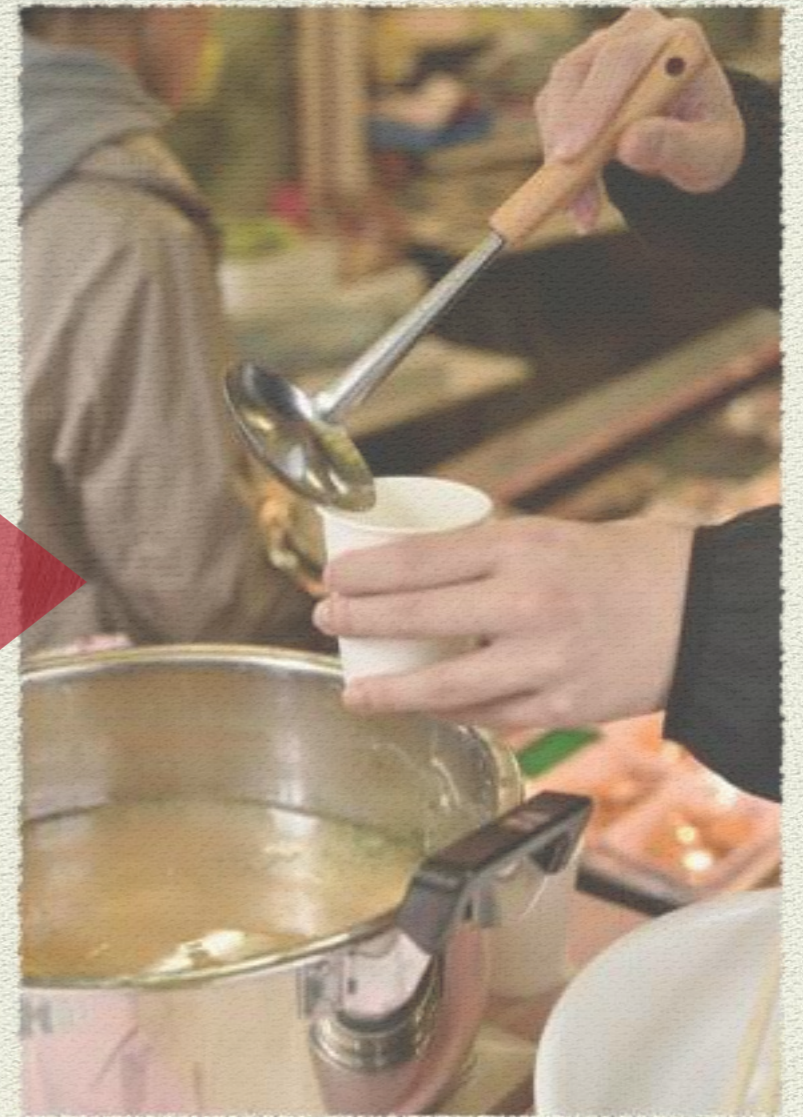
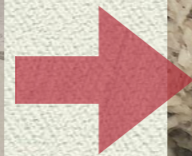
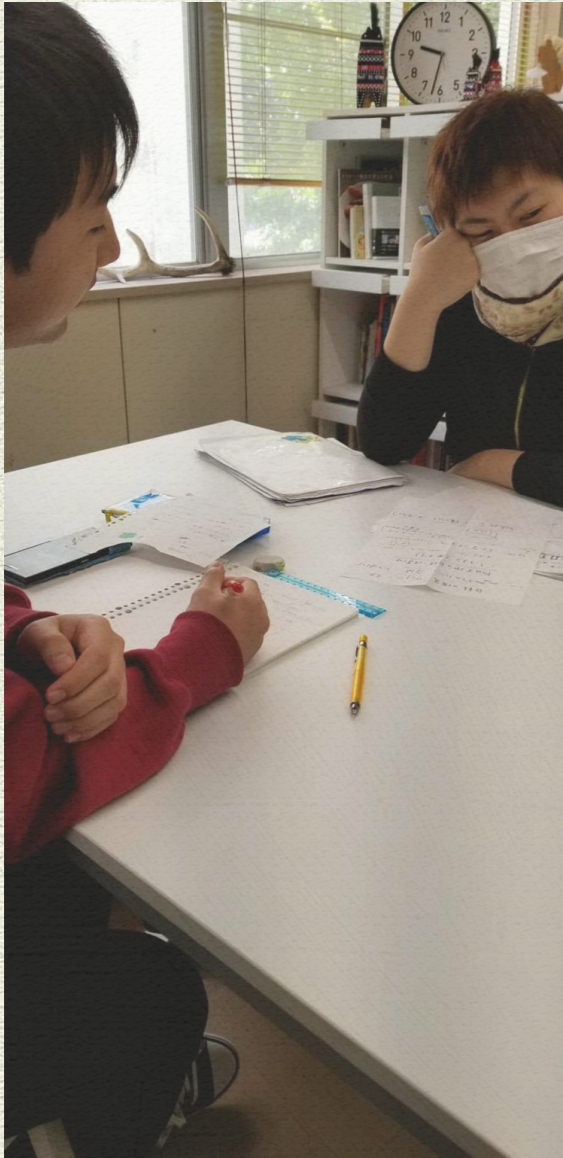
事業内容

- ◆ 福真さんとミーティング
- ◆ 味噌汁レシピ考案・実験
- ◆ 屋台制作
- ◆ OMISO BARのPRツールデザイン作成
- ◆ 無料販売と有料販売
- ◆ 事業をまとめたドキュメンテーションブック作成

味噌汁レシピ考案

- ◆ <米味噌とブレンド出汁とヒラメのアラ>・<麦味噌とヒラメのアラ>の2種類を考案。
- ◆ ブレンドは濃厚な味わいであり通常の方はさっぱりとした喉越しにした。





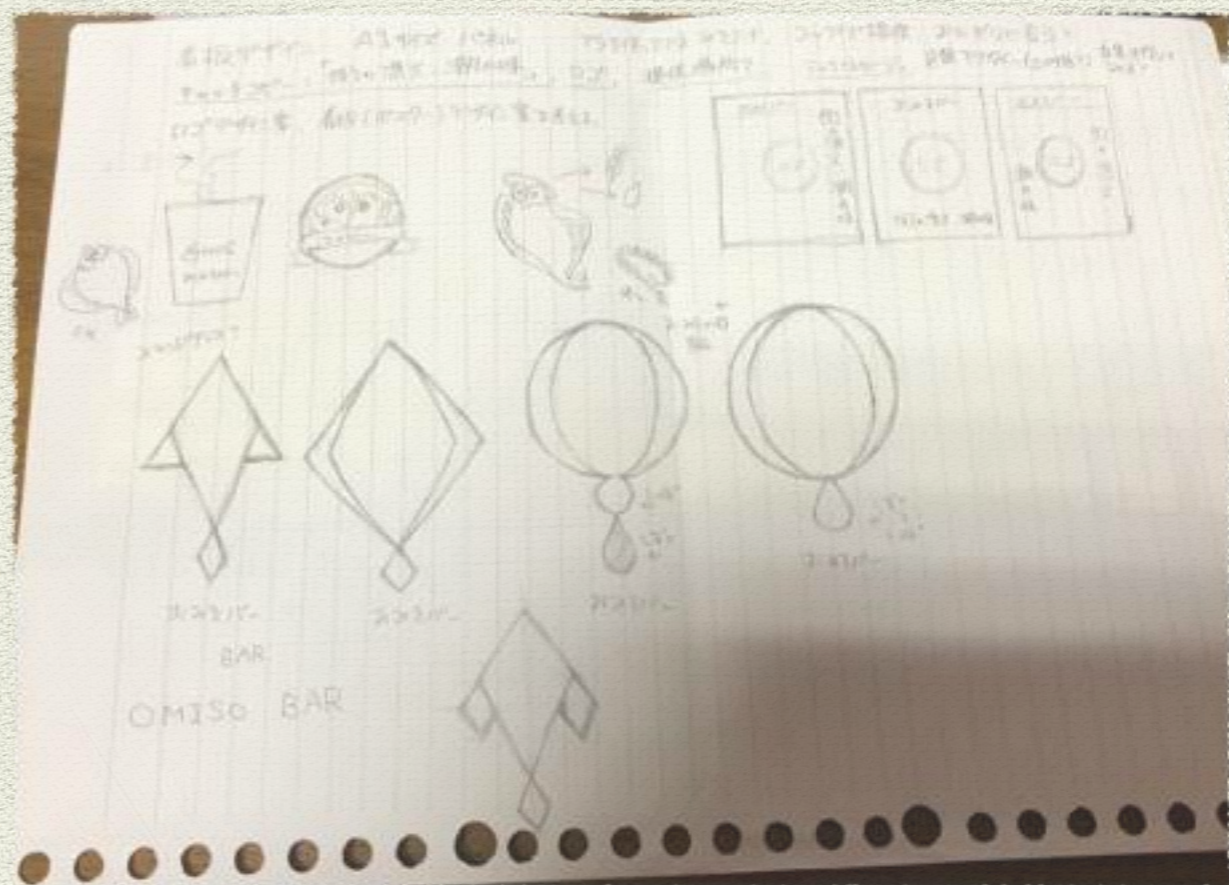
レシピ作成: 試案 ➡ 試作 ➡ 改善 ➡ 試作 ➡ 改善
➡ 調整 ➡ 完成という工程を繰り返す

販売

- ◆ 無料販売と有料販売の二回配布を行った。
- ◆ 無料販売では試験販売として配布。
- ◆ 有料販売では完成した2種の味噌汁と追加メニューのおにぎりを配布。







スターゲイザー・プロジェクトチーム

事業成果

- ◆ 9月30日:開催予定だったホコ天に向けた味噌汁のメニュー実用化を図る。雨天中止
- ◆ 10月27日:無料販売を行い、雨天だったが約50人に配布。
- ◆ 12月1日:有料販売を行い、味噌汁とおにぎりを単価100円で販売。悪天候のため集客が見込めず赤字という結果になった。
- ◆ 天候の影響が非常に大きかった。また、魚食文化活性化の第一歩になった。

- ◆ 感想・苦勞したこと
- ◆ OMISOBARの世界観や制作物のデザインが順調にいかず非常に難航した。
- ◆ 味噌汁購入者自らがプロジェクトの宣伝塔となることで、情報が拡散し八戸の魚食文化活性・復興の目標達成につながる。
- ◆ 交渉相手との交流で誠意を持ち丁寧に対応することの重要さや相手に無理をさせない配慮が必要であると交渉の上で学んだ。

今後の方針

- ◆ 自分たちの行ってきたことを後輩たちに継承していきたい。
- ◆ 福真さんとの縁を大事にする。今回のプロジェクトで成し得なかったことを改善し第二歩目を踏み出せるように努力する。

A photograph of four people standing behind a table covered with a white cloth. On the table are two portable gas stoves, each with a pot on it. The person on the far left is a man in a maroon shirt, smiling. The person next to him is a woman in a grey sweater, also smiling. The person in the center is a woman in a dark green puffer jacket, holding a small white cup. The person on the far right is a man in a dark blue jacket, looking towards the camera. The background is a rustic setting with wooden walls and hanging decorations, including a large fish-shaped ornament. The overall atmosphere is warm and inviting.

ご静聴ありがとうございました

スターゲイザー・プロジェクトチーム